

# 防災研究所 集中講義のご案内

以下の日程で集中講義を開催します。主たる対象は大学院生ですが、学部生や研究者などどなたでも参加していただけます。ご興味のある方はご参加下さい。

講師： 東北大学大学院理学研究科 中原 恒 准教授  
(防災研究所 地震災害研究部門 非常勤講師)

日時： 2016年9月1日(木) 14:00~17:15  
2016年9月2日(金) 10:30~12:00

内容： 「地震コーダ波：モデリングと応用」

地震コーダ波は、直達波の後に続き、振幅が時間とともにゆっくりと減衰する地震波であり、地下の不均質構造によって散乱された波群からなると考えられている。そのため、コーダ波を調べることにより、地下の不均質構造に関する情報を抽出することができる。さらに、コーダ波は、その独特な性質により、震源やサイト特性評価の研究にも利用されている。コーダ波の解析では、位相を無視して、エネルギー（速度2乗振幅）の時間変化（地震波形エンベロープ）に着目することが多く、そのモデル化には輻射伝達理論などが利用されてきた（ちなみに、コーダ波の位相をうまく利用するのがコーダ波干渉法である）。この講義では、コーダ波の性質とその地震学的な利用方法、そしてエンベロープの理論計算の基礎について説明する。

場所： 京都大学防災研究所 S-519D 大会議室  
(宇治キャンパス 本館S棟5階)

連絡先： 京都大学防災研究所地震災害研究部門 岩田知孝  
電話 0774-38-4057, iwata@egmdpri01.dpri.kyoto-u.ac.jp